

# 名経大通信

第11号

2004年11月1日

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

**P1-3** 特集「人生最高に幸せです」  
乱歩賞・神山裕右さんOBインタビュー

**P4** **Global**  
情報ネットワーク連続講演  
英語教育センター市民講座

**P7** **Local**  
「犬山市男女共同参画7年」

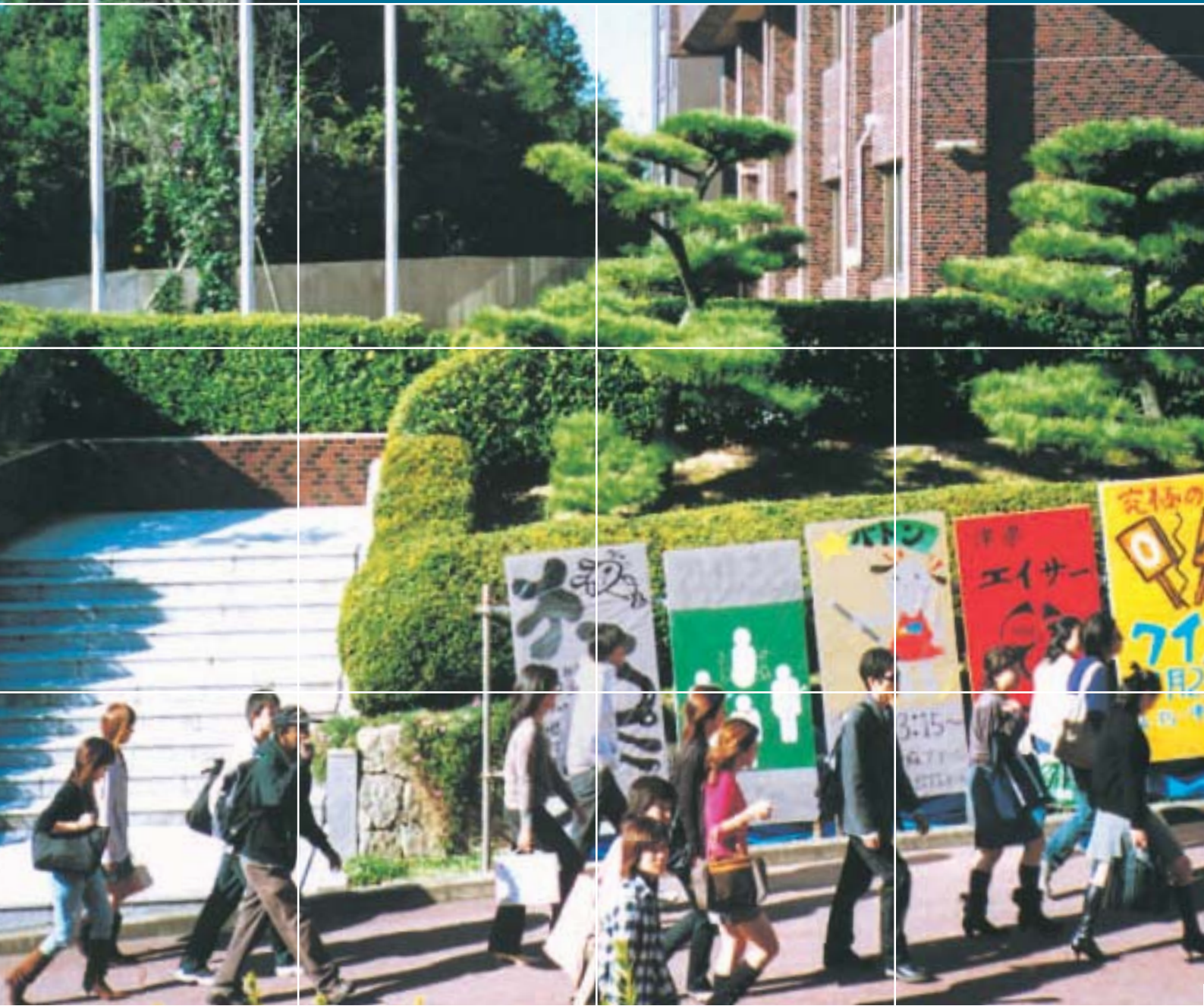
**P9** **People**  
卒業生近況  
「保育士として30余年」

**P5** **FACE to face**  
ゼミナール訪問

**P8** **Local**  
インターンシップ実習  
平成15年度決算報告

**P10** **Topics**  
サッカー部、連勝に湧く  
船橋洋一さんの講演

**P6** **Information**  
三学部、新たな取り組み



# デビュー、大いに語る

本年度の江戸川乱歩賞を歴代最年少の二十四歳で受賞した神山裕右さん（平成十四年度法学部卒業）の「カタコンベ」は八月に講談社から出版されました。これに合わせ、本学では神山さんに末岡学長の記念品を贈り、山田拓郎同窓会長もお祝いにかけて頂きました。その席で広報編集委員のインタビューに応じ、現在の心境や自分が置かれている状況などを率直に語りました。



（学長室で）

## 大学卒業まで

受賞後、インタビューや取材などで大変だったでしょう。ほんとにそうです。緊張の連続で・・・。受賞決定から四カ月たちますが、まだ数社から取材申込みを受けています。

二年ぶりに来た大学はどうですか。

今日は名古屋から電車で来ました。地下鉄と名鉄小牧線が接続

し、ずいぶん便利になりました。

## 大学生活の思い出は。

自由でのびのび、ゆとりができました。学風も自分に合っていました。教室では最前列に座りました。授業をきちんと受けたかったからです。

大学時代も小説は書いていたのですか。

ええ、ひまな時には書いていました。でも本格的に書き出したの

## おめでと〜ございます

末岡熙章学長

公募の文学賞では抜群の知名度がある江戸川乱歩賞を本学卒業生の神山裕右さんが受賞され、喜びに堪えませぬ。受賞作の「カタコンベ」は奇想天外なストーリーでありながら不気味な現実味を帯びています。心の痛みに思いを巡らせた想像力の豊かさを感じました。多くの人々に胸をはずませる小説をこれからも書き続けてください。おめでと〜ございました。

は、卒業後フリーターになってからです。バイトで一日つぶしてしまつのはもったいない。自分で目標を決めてチャレンジしてきました。

意識して小説を読んでいましたか。

いえ、読書は人並みだったと思います。冒険小説とかミステリー小説とか、面白そうだと思う本を読んできただけです。ただ、高校の時、図書室で宮部みゆきさん

# 作家・神山裕右さん(本学OB)

の小説をたまたま読んで、のめりこむほど面白いと思ったことがありました。

小説に映画の影響はないですか。

父が映画好きで、家族で見に行きました。エンターテイメント系で、「エイリアン」「ダイ・ハード」などのハリウッド映画のほか、ドイツやフランスの映画も好きです。

いつごろから作家になろうと思ったのですか。

大学のときです。中学のときは創作マンガを描いていた。高校のとき、シナリオを書くころかと思いましたが、思っただけで書きませんでした。大学のとぎ、自分を表現するための選択肢の一つとして小説家を考えました。

## 構想から受賞まで

さて、受賞作についてうかがいますが、題名の由来は。

題名の「カタコンベ」は、ラテン語で「地下にある墓地」という意味です。ヨーロッパの歴史を勉強している途中で

この言葉に出会いました。作品にうまく合ったと思います。

どのように構想はわいたのですか。

舞台の設定が重要でした。「洞窟」という閉じた空間を舞台にして架空の人物と事件を描きました。子供の時に連れて行ってもらった洞窟の雰囲気やそのときの気分が作品の土台になっています。子ども

のころから洞窟のような暗く神秘的な場所が好きでした。

受賞の自信はありましたか。

それは、もちろんありませんでした。一次選考の対象は三百作品、二次選考で二十作品、最終選考で五作品残ります。二次選考を通過した時点で十分満足でした。最終選考では当然落ちるだろうと思っていましたから、「受賞しましたよ」という電話を受けたときは実感がありませんでした。「ほんとにあれが受賞したの」という感じで。



最近では他の文学賞でも若い人の受賞がめだちますね。

若い人だけが元気があるわけではないと思いますが、時代の影響でしょうか。前の世代には、それなりによりどころや先の見通しがありました。われわれの世代は人生のよりどころがはっきりしない。そうしたところから生き方の価値観が崩れて、新しい生き方や価値を求め、ちが強い。それが書くものに表れるのではないのでしょうか。

## キャラクター

自称アナログ人間だとか。

いまだに携帯のメールは使っていません。自動車の免許は持っていません。もちろんスキューバダイビングの資格もありません。アンティークもの、とくに懐中時計を集めるのが好きで、いま三つ

持っています。西欧の歴史が好きだからということもありますが、性格はクールで、染まらない人間だと人には言われます。

フリーターをしているそうですが、メリットは何ですか。

スーパールのアルバイトをずっと続けていますが、高校生から七十年代まで幅広い年齢層の人がいっしょに働いていて、観察すると面白いですね。今後の作品作りに役立つかもしれません。フリーターの仕事は時間の自由度が大きく、色々な動機で人が入ってきます。作家志望のフリーターも多いのではないのでしょうか。

作家としての能力についてはどう感じていますか。

正直よく判りません。まだ、はつきり言えるほどのものはないと思います。ただ、祖父がカメラ好きで家中に写真が張ってありました。その影響で姉や私も写真を趣味にし、何かを表現したがる血筋ではあるのかもしれない。

## 小説について

乱歩賞はちょうど五十回になります。これまでの受賞作家のなか

で特に興味のあるのは。

真保裕一、福井晴敏など、読んで楽しめる小説を書く作家が好きです。自分の作品にも影響しているかもしれない。多くの人に楽しんで読んでもらいたい、なにより「楽しめなければ意味がない」というのが私のポリシーです。

日本の推理小説の古典ともいえる乱歩の作品はごつですか。

子供の時に興味があり、たまに読むくらいでした。これから読むかと思っています。

今回の作品で読者にアピールしなかったところは。

読みながら自分がその場にいるかのように感じ、ぐいぐいと引き込まれてしまう臨場感を重視しました。不思議で、面白くて、ページをめくる手がとまらないような作品をいまは書きたい。人間を深く描くにはまだ人生経験が足りないのでもういまは手をつけないでおこうと思っています。

やはりトリックやなぞ解きが中心になるのでしょうか。

ミステリーのジャンルも枠が広がり、ふところが深くなっていきます。乱歩や横溝正史などが書いた

殺人事件やトリック中心の本格推理小説と、不思議、好奇心、なぞを重視したミステリー小説に分化してきていますが、今回の作品は後者に入ります。

### これからのこと

次回作の構想はありますか。

ええ、実は次の乱歩賞に応募するつもりで準備してきたものがあります。今回の反省や批判を踏まえて、次回作ではその時点で完璧なものを書きたいと思っています。それ以外にも、未完成のものが長編で四本ほどあります。

今後どういった作品を。

路線は当面変わりませんが、舞台は日本や西欧、時代も江戸時代を含め色々です。小説の書き方やテクニクなど、まだまだ模索中ですが、終わり方はハッピーエンドで結びたい。いやな後味だけは残したくありません。

五年後、十年後の自分を想像してみるのは。

いえ、それはありません。これまで、最高にうまくいって何かの新人賞をとり、働きながら小説が書ければいいと思っていました

が、いまは、うまくいきすぎてびっくりしているところですよ。出上がった自分の本を手にしたとき、この仕事にやっと足をかけられたという気がするかもしれません。相変わらずフリーターの延長のような気もしますが・・・二十年後にこの仕事をもし続けていられれば、人生最高に幸せだと思えます。

作家生活が現実のものになったようですが、今、大事なことは何ですか。

とにかく、作ることと自分が好きという、小説を書く原点を忘れないようにしたい。書くことが苦痛になったら終わりです。

### おわりに

後輩たちへ一言お願いします。

偉そうなことはいえませんが、自分がいつも思っていることは、人生そんなに長くないということです。せいぜい



(名古屋市内のサイン会場で)

人生八十歳までとして、その間に事故や病気もあるかもしれません。一秒も無駄な時間はありません。ただのんびりと時間を使うのはもったいない。自分の道を見つけてチャレンジしてほしいということです。

どうもありがとうございました。

from Cambodia

## 暮らし、人権：： 連続四つの講演

名古屋経済大学情報センター主催の連続講演会『情報ネットワーク社会とは』が九月十一日～十月二日の毎土曜日に四回開催された。

私たちが住んでいる世界が情報ネットワーク社会と言われて久しい。今まで経験しなかったような便利な事、思いもよらない事件も起きている。この新しい世界を少しでも理解することによって、より快適に生活し、事件に巻き込まれないようにしたい。

## カンボジアだより

一年間の在外研究を終えてカンボジアから日本に帰国して二ヶ月余りがたちました。

同僚たちから今年の日本の猛暑の話を聞くたびに必ず「カンボジアとどちらが暑い？」と尋ねられます。確かにカンボジアは熱帯に位置する国なのですが、実は「常夏」ではありません。九月に雨期が明けた後、乾期に入り、こ

情報センターでは地域の人たちと新しい世界とのつながりについて「暮らし」「地域社会」「子供達」「人権」の四つの視点から考えようと四つの講演を計画した。本学の教員二名と地域の

方二名に講師をお願いした。約五十名の地域住民が毎回熱心に講演を聞きに来てくださった。



## 法学部助教授 四本 健二

く短い清々しい季節をはさんで四十度を超える猛暑の季節があり、蒸し暑さは四月に最高潮に達します。そして五月に再び雨期がめぐってきます。

この周期の間に果物にも「旬」があり、私の好物のマンゴーは四月に「マンゴー・レイン」と呼ばれる雨季入りを告げる雨が降る頃に最も甘くなるのですが、六月には市場からなくなってしまうま

## 英会話、五輪、大統領選： 楽しい市民開放講座

名古屋経済大学英語教育センターは夏休み中の九月、欧米の社会・文化に関する三つのテーマで「市民開放講座」を開きました。各講座とも受講申込みが四十名を超える盛況ぶりでした。

前田アンドレア助教授「海外旅行のための英会話」は実用的な英語表現を中心に練習。定員三十名を上回る申込者全員を対象に、楽しいレッスンになりました。

再びマンゴーが市場に戻ってくるのは乾期に入ってからなのです。熱帯の美しい花々も同様で、季節ごとに街路の色合いを変えます。

また、年間を通して、正月、入安居、出安居、盂蘭盆会といった仏教の伝統行事が季節感をさらに盛り上げます。つまり四季折々の移ろいは日本の専売特許ではなく、「熱帯の四季」もまた彩り豊かなのです。

(了)



西村賀子教授「オリンピックとギリシャ神話」は五輪にちなむ神話とその絵画・彫刻をパワーポイントを駆使して分かりやすく紹介。

宮川昇教授「今たけなわの大統領選挙を三倍楽しむ方法」はその歴史と仕組みから始まり、やはりパワーポイントの機能を十分生かしたビジュアルな講義でした。

どの講座も受講者にたいへん好評でした。

## 第五回 TOEIC 学内試験

十一月二十三日(火)午後一時三十分～三時三十分、7F2教室。

受験申込みは十一月二日(火)までに英語教育センターへ。受験料四千三百円。

## 遠征から近場へ

## 合宿の行き先

経営学部  
日比野雅俊ゼミナール

学生時代、所属する「地理学教室」では毎年三月になると、教員も含め三・四年合同のゼミ旅行がおこなわれていた。当時これは「巡検」と呼ばれ、事前に訪問地の下調べが要求された。四泊とが一週間近くかけて房総や九州を回ったことを覚えている。

その延長で、本学でも開学以来、毎年三年生を対象として三月か八

## グループワークで

## 実務能力磨く

短期大学部商経科  
水口美知子ゼミナール

商経科では、一年後期から一年半のゼミ(三単位)があります。私のゼミでは「ビジネス実務能力を磨く」というタイトルで学生を募集したところ、おおむね職業意識が高く、資質の明るい積極的な学生が七名集まりました。

一年の後期は就職対策(特に面接対策)として、「コミュニケーション能力を磨く」ことが重点です。視線、姿勢、



## フェイス・トゥ・フェイス

表情、態度、話し方。「ア・エ・イ・ウ・エ・オ・ア・オ」の大きな声や顔をくしゃくしゃにしながらの表情筋の練習の笑い声、また廊下でのウォーキングなど周囲に迷惑をかけながらもゼミ室には活気が溢れています。

授業の一部を使って歌舞伎の「外郎売うしろうり」のせりふを覚え、クラス内で発表したことは、集中力と記憶力を鍛え、明確な発音・発声訓練は豊かな表情づくりに、人前での発表は度胸と自信につながったと思います。全員が声美人、表情美人になりました。様々な新聞記事を読み、討議し、明確な内容(What)を効果的に表現



月に一泊か数泊程度のゼミ旅行を続けてきた。「伊豆大島」や「三宅島」はそれぞれ二度訪れたし、手近なところでは鳥羽市の「神島」など六・七回は行っている。紀伊半島を廻ったこともあるし、片道三十時間の船旅に酔いながら「小笠原」まで遠征したこともある。

ところが、ここ何年かは学生たちが四・五泊を要する遠出に消極的になってきたため、一昨年より二泊三日でおこなう三・四年合同のゼミ合宿に切り替えた。そして内容も中の一日は四年生が卒論の中間報告をするという、すっかり

真面目な合宿に変貌した。

今年は九月一〜三日、「学生向け激安月間」という宣伝文句につられて岐阜県庄川村の高級感漂うホテルで合宿をおこなったが、安かるつ悪がるうの見本のような宿で、昨夏の「佐久島」の民宿と比べると食事内容はあまりにも見劣りした。三日目はロックフィルダムとして有名な「御母衣ダム」や世界文化遺産となった白川村の「合掌造り」を見学した。とにかく無事合宿を終えたものの、今年は三年生の不参加が目立ち、こつした集いにノッてこなくなった学生の出現に苦慮しつつある。

する方法(Etc)を身につけます。

二年の前期は、情報の収集と分析、リーダーシップのとり方、課題解決の方法、創造性の開発などの習得を目指しグループワークを試みました。自分の思いを的確にグループに伝える難しさを体験できたのではないかと思います。

二年の後期は、環境問題や言葉(メール)の問題、美と健康などをテーマにレポートをまとめます。ほぼ全員が就職先を決め、容姿も言動も少し大人になりました。はちきれんばかりの笑い声が研究室に満ち、教員としての至福の時です。

# 学外から力強い支援

## 経営学部 会計特別研究室から

税務・会計四事務所と  
協定結ぶ

田中健一事務所(津市)  
安江靖和事務所(岐阜市)  
成田満幸事務所(名古屋市天白区)  
光岡 朗事務所(名古屋市中区)

経営学部「会計特別研究室」は発足後一年半を過ぎました。現在、一・二年次生十数名が、税理士試験を目標に、週四回の特別授業(講義二回、答案練習二回)や自習に努力を重ねています。

研究室が増え、年次も複数年次になり、二年後には四年次まで研究室生が在籍するようになることに備え、講師陣の充実を図りました(主任講師・中村壽男、講師・荒鹿善之、光岡正彦、猪野竜司、顧問・光岡朗)。

また、税理士の科目試験合格後の研修受け入れ先として、平成十六年度から上記の四事務所と協定を結び、ご協力をいただくことになりました。

この四事務所はそれぞれ東海三県を代表する有数の事務所です。ご多忙のなか、私たち会計特別研究室の趣旨をご理解され、所長先生はじめ事務所の先生方から直接ご指導をいただくこととなりました。研究室生、講師一同、国家試験合格をめざして精進を重ねていきます。

## 経済学部 地域社会特別研究室から

環境行政に次いで  
地場産業を学習

「名経大通信十号」で速報しましたように、経済学部では平成十六年度から「地域社会特別研究室」をつくりました。目標は、第一に地域社会活性化に貢献する人材(公務員など)の養成、第二に学部全体を活性化させる「核になる学生」の育成です。

参加希望を募ったところ、熱心な学生二十名が研究室に集うことになり、学習に励む研究生の姿がみられます。研究生の関心と学習意欲に応え、卒業後の進路を現実

なものにするため、特別講義などさまざまな活動を展開していきたいと考えています。

六月二十八日、犬山市役所環境部長・牧野一夫氏を特別講師としてお招きし、「行政の役割と課題について」話をしていただきました。ゴミの問題を中心に、犬山市が市民との協働関係を深めながら環境問題に取り組んでいる現状を、さまざまな資料を用いて説明されました。それを通じて、自治体職員には何が求められているか、地域社会におけるこれからの自治体職員の仕事は何かについて、ご意見をうかがうことができました。

続いて、株式会社瓶屋代表取締役・大島一郎氏による「地場産業と消費者を結び」というテーマの特別講義が予定されています。

## 法学部

一年生の「法学入門」で  
資格取得の体験を聞く

前期の授業も終わりに近づいた七月九日、法学部の一年次生に対して国家試験、公務員試験及び検定試験の合格者から体験

談を話してもらつて会を開きました。

法学部では、導入教育を充実させるために、少人数の講義科目として「法学入門」を必修科目にしています。この授業では、まず法律系各種国家試験、検定試験及び公務員試験について具体的に説明し、入学と同時に明確な目的意識を持って学習することの意義を話します。こんどの報告会はこの授

業の一環として行われました。

報告者の三人はいずれも本学の先輩です。法学部の一期生で行政書士、社会保険労務士に試験に合格して企業で活躍している方、今春卒業して愛知県警察官(本年九月採用)の一次試験に合格した女性の方、そして法学検定・ビジネス実務法務検定のそれぞれ二級に合格し、来春法科大学院への進学

を希望している四年次生でした。

それぞれが受験の動機、勉強方法、授業と受験勉強の関連、受験後の感想や今後の抱負などについて話しました。先輩方から大いに触発され、可能性を信じ、いろいろな試験へのチャレンジが増えることを期待しています。

# 犬山市の男女共同参画事業にかかわって七年

経済学部教授 吉田啓子

犬山市役所の男女共同参画事業にアドヴァイザーとして関わるようになってもう七年。今年は男女共同参画事業の核心である男女共同参画プランの策定にとりくむことになった。男女共同参画という言葉自体が市民になかなか浸透していかないなかで、かつ市民参加型で作ることなので、かなり



り難業になりそうだが、幸い本学短大保育科の関谷先生にも策定委員の一人として加わっていただけることになったので、がんばっていいものを作りたいと思っている。プラン策定に向けて、委員を市民から公募することにしたり、その条件として市民向け意識啓発講座

（『わくわく講座』）の受講が義務づけられた。この講座はテーマごとに様々な講師に委嘱して行い、本学の先生方にもたびたびご登壇願ったが、本年度に限っては右記のような意図から、テーマを『女性の歩み一〇〇年』として、私が担当することになった。

五月から九月まで、月一回の計五回。「女性差別などない」、「元氣

な女性が増えていのにこれ以上何が必要か」という高齢の男性市民も含めて、受講生は四十人ほど。スキヤナーで古い時代の映像を読み込んでパワーポイントで見せたり、白書の中のグラフなどを資料として使ったりしながら講義した。年齢的に幅があり、社会的経験もさまざまで、学生対象の講義とはまたひと味違う反応があつて、そ

## 「わいわい犬山」に彩り添え

本学が主催者の一員となった犬山市制五十周年記念「わいわい犬山フェスティバル 産業振興祭」は十月九～十日、市内の各地でにぎわいました。短期大学部生活文化学科の教員によるヘルシー料理教室（南部公民館で）、ヘルスチェック（文化会館で）が彩りを添えました。

台風に見舞われましたが、石田芳弘犬山市長がヘルスチェックの骨密度測定を受ける「写真」など、多くの住民から利用されました。



## 小牧の「市場祭」を協賛

九月二十五日、小牧市の「愛北総合食品流通センター」においてこの時期としては初めて企画した市民への市場開放「市場祭」が開催されました。

本学の短期大学部生活文化学科の教員がこれに協賛し、チームを編成して市場内に「健康チェックコーナー」を開設。血圧や骨密度を測定後、健康相談を行ないました。参加者は百名を超え大盛況でした。



# インターンシップ

## 夏休みに五名が実習

インターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」とされ、学生が企業・行政などで実習・研修的な就業体験を行う制度のことです。

本学では、インターンシップを平成十五年度から始めました。カリキュラムとしては、二年次に「特殊講義」(インターンシップ論、ビジネスマナー論、情報論、企業

論、行政論など二単位)を行い、三年次の八・九月に企業・行政・会計事務所・法律事務所などで「企業・行政実習」を行います。その後、実習報告会があります。

平成十六年度からインターンシップ実習が開始され、経済学部二名、経営学部三名、計五名が参加しました。実習先は吉田化学株式会社・犬山市役所・公認会計士光岡朗事務所・渡辺基成税理士事務所でした。

その実習に参加した学生の感想です。

「視野が広がった」

「将来つく職業を考える上で大変役立つ」

「自分のやりたいことが現実味を帯びて見えてきて、学習意欲がわいた」

「将来ついてみたいと思っていた仕事を体験してみたが、想像とは大きくかけはなれていた」

経済学部助教 木全 敬止

(次号に実習報告会の内容を掲載します)



犬山市役所の窓口で対応する箕内彰君



ソフトボール大会のグラウンド整備をする中岡敬晶君

# 平成15年度決算報告

平成15年度学校法人市邨学園の決算諸表は下記のとおりである。  
 資金収支計算書は、年度中の諸活動に対するすべての収入及び支出の内容と年度中における支払資金のてん末を明らかにしている。  
 消費収支計算書は、年度中の消費収入と消費支出の内容を明らかにし、消費収支の均衡状態を表示している。  
 貸借対照表は、財政状態を明らかにするために、年度末に保有するすべての資産、負債、基本金及び消費収支差額を表示している。  
 平成15年度決算では、次年度繰越支払資金が減少した。また、基本金組入額が大幅に増加した。これは施設・設備取得による1号基本金の組入れと次年度の施設・設備取得計画に基づく2号基本金組入れによるものである。  
 今後もより健全な財政基盤の安定化に努める。

## 平成15年度 資金収支計算書

平成15年4月1日から  
平成16年3月31日まで (単位:千円)

資金収入の部		資金支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,857,031	人件費支出	5,114,721
手数料収入	127,531	教育研究経費支出	774,669
寄付金収入	72,627	管理経費支出	330,197
補助金収入	1,421,721	借入金等返済支出	288,937
資産運用収入	37,475	施設関係支出	200,769
資産売却収入	52	設備関係支出	229,123
雑収入	310,126	資産運用支出	1,695,140
借入金等収入	272,050	その他の支出	695,182
前受金収入	1,391,740	資金支出調整勘定	497,120
その他の収入	949,565	次年度繰越支払資金	9,665,877
資金収入調整勘定	1,706,070		
前年度繰越支払資金	11,763,647		
収入の部 合計	18,497,495	支出の部 合計	18,497,495

## 平成15年度 消費収支計算書

平成15年4月1日から  
平成16年3月31日まで (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,857,031	人件費	4,984,653
手数料	127,531	教育研究経費	1,374,064
寄付金	88,570	管理経費	385,021
補助金	1,421,721	資産処分差額	144
資産運用収入	37,475		
資産売却差額	52		
雑収入	131,509		
帰属収入 合計	5,663,889		
基本金組入額 合計	1,776,035		
消費収入の部 合計	3,887,854	消費支出の部 合計	6,743,882
		当年度消費支出超過額	2,856,029
		前年度繰越消費収入超過額	4,265,739
		翌年度繰越消費収入超過額	1,409,710

## 平成15年度 貸借対照表

平成16年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債・基本金及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	22,554,040	固定負債	4,312,196
有形固定資産	14,263,758	流動負債	2,372,906
その他の固定資産	8,290,282	基本金	24,752,960
流動資産	10,293,732	翌年度繰越消費収入超過額	1,409,710
資産の部 合計	32,847,772	負債・基本金及び消費収支差額の部 合計	32,847,772

# 保育士として30余年 卒業生近況

## 新学部の 幼児保育学科に誇りと喜び

春日井市の指導保育士 安達佳代さん  
(昭和四十五年卒業)



来春、名古屋経済大学に人間生活科学部幼児保育学科が開設申請をされたとのこと、短期大学部保育科の創設の頃に学び、教えを受けた一人として、誠に誇らしく大きな喜びです。

子どもが大好きで、世界中の子どもたちが笑顔で暮らせるようにと、ほとぼしる情熱でもって保育士の道を歩み、はやくも三十五年が過ぎようとしています。この長い年月を乗り越えてきたその礎にあるのは、とりもなおさず、この緑豊かな小高い丘の上になたされた学舎(まなびや)で保育の理念を学び、ピロティから眺める御岳の清らかさに明日への希望を駆り立てた絶好のキャンパスライフがあったからこそと深く感謝しております。

周知のように、昨年、保育士資格が法定化され、専門職として自己研鑽の義務が課せられることとなりました。国家資格の重みを感じ

じつつ、職責を全うしていかなければなりません。子どもたちの純粋な心と澄んだ瞳に出会う時、その思いはいつそう強く大きくなります。人間を人間として育む素晴らしい仕事に就いていることを誇りに思います。

子ども達の一つひとつの行動には、必ず意味があり、心をゆり動かされます。理論から実践そして、検証していく過程において、大学での学びは貴重な財産であり、学問を修めることは本当に素晴らしいことです。

理想を高く掲げ、時代の要望あるいは使命感のなかでますます躍進されることを願ってやみません。

### プロフィール Profile

昭和四十五年より春日井市保育士。外之原保育園園長、子育て支援室長などを経て、平成十五年より春日井市健康福祉部児童課指導保育士。

## 母校で3カ月研修、収穫多く



津島市立神島田保育園主任

櫻木正代さん  
(昭和四十七年卒業)

夏の三か月間、母校で行われた「愛知県現任保育士指導者養成研修 園長・主任コース」に左の写真が終わり、今は充実感でいっぱいです。

この研修には愛知県全域から四十一名の保育士が参加しました。三十二年ぶりの学園。こうして再び母校で学ぶことになることは思いもよらないことでした。坂を登ると、1号館が見

えてきました。その階段をあがると、ゼミ室や音楽室があり、保育者を夢見ながら過ごしていた頃を思い出しました。広大な敷地の中に建ち並ぶ立派な校舎。時の隔たりを感じながらも、情報センター、図書館、コミュニケーションプラザなど素晴らしい施設をまるで学生に戻った気分です。楽しく活用させていただきました。

授業は一日四コマ。保育内容総論から始まり、スーパービジョン、対人援助技術論、子育て支援計画、行政の課題まで、今日の保育園が抱える切実なテーマが盛りたたくてきました。指導的立場としての保育士の視点を習得しました。また、各自がそれぞれのテーマで取り組んだ主題研究には苦心が多く格闘の跡が感じ取れました。

今回の研修で多くの出会いがありました。講師や事務の方々はもちろん、特に研修生とは多少の年齢差はあったものの、自治体での問題点や悩み事など、寝食を忘れるほど話し込むこともありました。先生とのメールのやりとりは深夜に及びました。

ここで学んだ多くのことを明日からの保育現場に生かしながら、より以上に自己研鑽に努めたいと思います。

# サッカー部 連勝に次ぐ連勝

## 部員不足を克服、練習が楽しく

主将 村上郁朗(経済学部三年)

私は友達で紹介で一年生の秋頃に名経サッカー部に入部しました。入部当初は、部員数が十五人ほど。一日三時間、週四日の練習に全員が揃うこともたまにしかなく、十



分な練習はできませんでした。「人数が少ないから練習が楽しくない」と感じる部員も少なくありませんでした。しかし二年生の時に新入部員が五人入り、しつかりした練習ができるようになりました。部活意識も少しずつ変化し、時間にルーズな人も減り、練習が面白いと感じる部員も増えています。二年生の秋にミーティングがあり、先輩から主将(キャプテン)を引継ぎました。キャプテンの仕事は、簡単なことだと思っ

ていましたが、いざやってみると想像以上に大変なことばかりでした。監督のいないサッカー部では、練習内容や試合での陣型は自分達で決めなければなりません。

他大学との練習試合や大会の運営、審判など、知らないことばかりでした。本や雑誌を読み、友達に相談したりして、練習については効率的で中身のあるものになるよう努力しま

した。二年生の時は、練習不足のため大差で負ける試合が続きました。しかし、中身の濃い練習を一年間やり通したことで、最近では学生サッカーリーグで連勝に次ぐ連勝に湧きました。これは初めての快進撃で、本当にうれしかった。また、このこと

## 船橋洋一さんの講演会

### 激動の世界、真相と内幕

朝日新聞

コラムニス

ト船橋洋一

さんを講師

にお招きし、

名古屋経済

大学主催の

「激動する世

界情勢と日本」公開講演会が十月十三日、名古屋市内のホテルで開かれました。

世界を駆け巡る精力的な取材体験と広い視野を持つ船橋さんは、アメリカ、中国の動きとその行方を鋭く情勢分析して語り、記事ではうかがい知れない内幕も知ることができました。



興味深げに聞く人たち

が友達から友達へと伝わって、部員も三十人近くになり、練習の面白さ、サッカーをみんなで作ることの楽しさを知ることができました。友達が増え、他の部活との交流もでき、充実したキャンパスライフを送っています。これからもサッカーを続けたいと思います。

超大国の米中が将来的に日本にもたらすもの、それにどう対応するのか。船橋さんは「反米主義の高まりが同盟国のリスクも高める。アジアで信頼をとりつける工夫が日本に求められる」と結びました。

大ホールの受講者からは、「イラクの泥沼化」「先制攻撃の是非」「靖国神社参拝問題」「北朝鮮の情勢」などについて質問が相次ぎ、船橋さんの深みのある見解が述べられました。



語りかける船橋洋一さん

# 名経祭

meikeisai 10/23~24

「Garden～笑顔が咲く場所へ」をテーマにして、  
第2回「名経祭」は10月22日の前夜祭に次いで、  
23～24日に本祭をおこないました。

名物のフットサル大会に60余チーム参加



名演技・ストリートダンスサークル



Garden  
笑顔が咲く場所へ

めいけい目抜き通り?

高校生と親たちへの全体説明



## オープンキャンパス

2004オープンキャンパスは  
7月25日、8月22日の2回、開催しました。



学部・学科の相談コーナー



臨床栄養学の講義体験